

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：デイサービスセンターやまもも
施設種類：（介護予防）認知症対応型通所介護

日時：令和7年5月27日 14時～15時
会場：グループホームはなんばの里

出席者
（人数）

利用者代表	0人	有識者	0人
利用者家族	1人	高齢者あんしん支援センター職員	1人
地域住民の代表	0人	出雲市職員	0人
その他〔管理者（はなんば施設長）、相談員、潮風苑施設長〕			3人
グループホームはなんばの里 利用者家族1名 ※（グループホームはなんばの里運営推進会議との合同会議のため）			

（議題）

1. 利用者状況報告
2. 活動状況報告
3. 今後の行事予定について
4. 令和6年度事業報告について

（報告・説明事項）※デイサービスセンターやまももに関するもの

利用者の状況報告	・現利用者数（9名）、利用者状況（性別、介護度、年齢、住所地）、基本利用パターン
活動状況報告	・1月～5月に実施した主な行事・活動の報告 〔初詣（1月）、節分会（2月）、ひな祭り会・ぼた餅作り（3月）、お花見（4月）、チューリップ見学（4月）、遠足〔花の郷〕（5月）〕
今後の行事予定について	・菖蒲見学・誕生会（6月）、ハス見学（7月）、盆団子作り、ひまわり見学（8月）、誕生会など
事業報告について	・令和6年度デイサービスセンターやまもも事業報告の概要について説明

●議題1～4

（会議の内容…評価、要望、意見、助言等）

○ 高齢者あんしん支援センターより

やまももの利用者がかなり減っていますが、職員が足りずこのような受け入れ状況になっているのですか。

⇒ 施設より

職員数は十分に満たされています。日によっては、ご利用者の人数よりも職員の方が多いこともあります。昨年の同時期と比較しても利用される方は減っています。ご家族が体調を崩され、

在宅での生活を継続することができなくなり施設入所された方や利用を通常のデイサービスのみに限定された方もおられます。やまももはこれまで利用される方が増えたり減ったりを繰り返してきましたが、これだけ少ないことはなかったかと思います。市内の認知症対応型のデイサービスでも利用者が減っており、休止や廃業を余儀なくされるところも増えました。現在ある出雲市における認知症対応型のデイサービスの中でも、やまももは一番ご利用者が少ない状況です。立地条件もあると思いますが、単価が高いということもご利用される方からするとネックにはなっていると思います。ただ、現在の状況を逆手に取ると、少人数だからこそより手厚いサービスを提供することが可能です。他のデイサービスに比べ、外出する機会も多く設けていますし、その方に合ったケアを提供することもできます。とはいっても現在の状況では運営していけなくなりますので、やまももの強みを活かしたり、新たな強みとなる部分を見出し、単価以上の価値を生み出さないといけないと思っています。これに加え、通常のデイサービスにはないゆったりした空間が認知症の方にとってより安心して過ごしていただけるというメリットを多伎の居宅をはじめ、他の介護支援事業所にもアピールし理解していただき、サービス利用に繋げていきたいと思っています。

○ 家族の代表より

日曜日はやっておられますか。お盆や年末年始はどうですか。

⇒ 施設より

やまももの営業日は水・日曜日以外となっています。お盆期間中は通常通り営業しますが、年末年始はお休みさせていただいています。ご利用者の需要に応じて日曜日などの営業も考えなくてはならないと思いますが、現在のところそういった需要はないようです。